

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	石巻市						
地域内総人口（人）	137,454						
地域総面積（km ² ）	554.55						
地域の要件	人口	面積					
地域の要件がその他の場合は具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	平成28年4月1日
終了年月日	令和5年3月31日
計画期間	7年

(2) 対象地域における取組みに関する事項

ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

宮城県では、総合的かつ効率的なごみ処理を推進するため、平成11年3月に「宮城県ごみ処理広域計画」を策定している。本市は、東松島市と女川町の2市1町で石巻ブロックに所属しており、平成14年度に石巻地区広域行政事務組合が石巻広域クリーンセンターを建設、2市1町の可燃ごみの広域処理を行い、中間処理の広域化を実施している。	
確認した都道府県の広域化・集約化計画の名称	宮城県ごみ処理広域計画

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない地域		
プラ要件化対象事業の実施		○
備考		令和11年度までにプラスチック資源の分別収集及び再商品化を実施予定 (令和5年11月15日策定 石巻地区広域行政事務組合循環型社会推進地域計画)

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	④その他（詳細は下記）
上記が④の場合、その詳細	通常の収集ごみは、処理手数料を徴収しておらず、粗大ごみの戸別収集のみ有料化を実施。直接搬入ごみについては、従量制により課金し、直接収納方式により徴収。
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	①構成市全てで策定済
策定済の構成市（計画の名称）	石巻市災害廃棄物処理計画
未策定の構成市（策定予定時期）	平成31年3月
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		平成28年度	令和5年度	令和5年度	実績/目標
①総人口（人）		146,991	139,463	135,216	
排出量	事業系ごみ排出量（トン）	15,314	12,626	14,213	41%
	生活系ごみ排出量（トン）	40,881	34,961	34,622	106%
	1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	660	579	608	64%
	その他排出量（集団回収等）	755	1,067	212	-174%
	総排出量（トン）	56,950	48,654	49,047	95%
	1人1日当たりの排出量（g/人日）	1,061	956	994	64%
再生利用量	総資源化量（トン）	8,336	7,455	4,918	0%
	総排出量に占める総資源化量の割合（%）	15%	15%	10%	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）	6,269	5,521	4,531	0%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合（%）	11%	11%	9%	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWH）	13,095	11,028	12,394	
	年間の熱利用量（GJ）	-	-	-	
特記事項					

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		令和26年度現状		令和5年度目標		令和5年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	67,688人	45.4%	104,272人	75.9%	76,163人	57.0%
	農業集落排水施設等	5,303人	3.6%	5,072人	3.7%	3,592人	2.7%
	合併処理浄化槽等	12,363人	8.3%	15,989人	11.6%	13,841人	10.4%
	小計：汚水衛生処理人口	85,354人	57.2%	125,333人	91.2%	93,596人	70.0%
	単独処理浄化槽等		0.0%		0.0%	11,820人	8.8%
	非水洗化人口	63,894人	42.8%	12,121人	8.8%	28,308人	21.2%
	小計：未処理人口	63,894人	42.8%	12,121人	8.8%	40,128人	30.0%
	合計：総人口	149,248人	100.0%	137,454人	100.0%	133,724人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	22,129キロリットル		9,475キロリットル		11,349キロリットル	
	浄化槽汚泥量	29,252キロリットル		24,630キロリットル		28,930キロリットル	
	合計	51,381キロリットル		34,105キロリットル		40,279キロリットル	

3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況
ア. 一般廃棄物の排出量に関する事項	環境学習の一環として、石巻広域クリーンセンター施設見学时に小学生向けのごみ減量講座や学校、地域団体等への出前講等を実施し、生ごみの水切りやごみの分別に関する啓発を行った。また、食品ロス削減の観点から、平成29年度から「もったいない！食べ残し！30・10運動！（家庭編・宴会編）」を推進し、令和3年度からは同運動の一つとして、家庭から出た余剰食品をフードバンクに寄付するフードドライブ事業を実施している。
イ. 一般廃棄物の再生利用量に関する事項	資源化を推進するため「雑紙の排出方法の変更（紙袋に入れて出す、紙紐で縛って出す）（H28～）」や「古着・布類の回収対象を拡大（H28～）」を実施した。また、平成29年10月から市内公共施設等15箇所に回収ボックスを設置し、使用済み小型家電の回収を実施している。
ウ. 一般廃棄物の最終処分量に関する事項	平成28年度時点で既存の一般廃棄物最終処分場の埋立率が82.25%となっていたことから、次期最終処分場の調査・計画・建設を進め、令和5年8月から「石巻市大衡山一般廃棄物最終処分場」の供用を開始した。
エ. 一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項	焼却施設である石巻広域クリーンセンターにおいて、ごみの焼却の際に発生した蒸気を利用し、ボイラーで回収した蒸気タービンを駆動して発電機を回し、発電している。
オ. 処理形態別人口に関する事項	浄化槽から公共下水道に接続した場合は、10万円を上限に補助金を交付している。循環型社会形成推進交付金を活用しての個人設置浄化槽は442基、公共浄化槽設置は28基となった。
カ. し尿・汚泥の量に関する事項	し尿及び浄化槽汚泥は、石巻地区広域行政事務組合のし尿処理施設において処理し、生じた汚泥を脱水、焼却後、埋立処分している。処理量の減少に伴い、令和5年度に石巻広域東部衛生センター及び石巻広域西部衛生センターの2施設を統合し、石巻広域東部衛生センターのみでし尿及び浄化槽汚泥を処理している。
その他	

4 目標の達成状況に関する評価

<p>（ごみの処理）</p> <p>1 排出量</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の実績は49,047トンであり、目標値に対する達成度は95%となっており、目標を達成できなかった。 <p>2 再生利用量</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の実績は4,580トン（リサイクル率9%）であり、目標値に対して6ポイント少なく、目標を達成できなかった。 <p>3 最終処分量</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の実績は4,531トン（総排出量に占める最終処分量9%）であり、目標を達成した。 <p>4 エネルギー回収量</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の実績は12,394MWHであり、目標を達成した。 <p>（生活排水の処理）</p> <p>処理形態別人口は、公共下水道は供用開始区域が予定より進んでいない状況であったが、接続啓発等により73%の達成となった。集落排水処理は、区域の人口減少により処理人口の減となった。合併処理浄化槽について、設置費用の増額傾向であったが86.6%を達成することができた。いずれも目標を達成することができなかったため、引き続き汚水処理施設等への接続を進める必要がある。</p>	
--	--

（都道府県知事の所見）

<p>【ごみの処理】</p> <p>総人口が平成28年度比で約8.1%減少している中、生活系ごみ排出量が約15.4%減少と目標値を達成しており、住民への啓発・広報活動や紙ごみなどの資源化の推進等の施策が目標達成に貢献したと評価できる。一方、事業系ごみ排出量の目標値が達成できておらず、生活系ごみを含めた総排出量の目標値達成の支障になったと思われる。また、再生利用量についても目標値を達成できていないことから、その要因と目標値の妥当性について十分に調査、分析されたい。</p> <p>なお、最終処分量及びエネルギー回収量については、目標値を達成しており評価できる。</p> <p>【生活排水の処理】</p> <p>目標年度における人口が当初計画よりも減少する中、合併処理浄化槽については目標値に及ばなかったものの86%の達成率となっている一方で、公共下水道共に目標値を下回っていることから、汚水未処理人口の解消のために、公共下水道への接続及び合併処理浄化槽の計画的な整備の推進に取り組まされたい。</p>	
---	--

※令和6年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。